



医療法人社団 苑 田 会 公立新小浜病院

# ジャカラランダ



ジャカラランダの花

## 院長挨拶

新年あけましておめでとうございます。  
皆様にはお健やかに新春をお迎えのことと存じます。  
昨年は何かとお世話になり大変ありがとうございました。  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

公立新小浜病院  
病院長 井手 孝

さて本年は、私共医療業界に働く者にとって変革の年になりそうです。4月には6年に一度の介護報酬と診療報酬の同時改定が行われます。これに対応するためにも院内で充分なる協議・検討を行いたいと思います。また、当院の新しい病院建設も、ようやく設計の段階が終わり、いよいよ今秋には建設着工となる予定です。計画通りすすめば、平成32年4月には新規開院を迎えることとなります。この新しい病院に向けて昨年12月には最新の320列のCTを導入いたしました。これにより検査時間が飛躍的に速くなり、しかも身体内部をより細かく検査できるようになりました。

これからは効果的かつ有効な稼働を進めていきたいと考えております。

また、本年3月には大手ベンダーの新しい電子カルテも導入予定で、現在移行作業を行っております。事務の効率化だけでなく、患者様の為の「電子カルテ」として役立ててまいります。

このように、本年は当院にとりまして、診療報酬改定も含め、いろんなことが山積しております。忙しい年になりそうですが、素晴らしい新病院を目指して、期待をもって取り組んでまいりたいと思います。引き続き今後も地域に必要と愛される病院であり続けるように、また近隣の病院、クリニックと共存・共栄できるように職員一同、鋭意で頑張っていく所存です。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

## 第2回

# 連携医療機関のご紹介

日頃からお世話になっている地域の  
医療機関をご紹介します。



医療法人 城代 医院  
雲仙市千々石町

## 「開院して60年になりました」

当院は昭和33年9月1日に皮膚泌尿器科・内科・外科を標榜し19床の有床診療所として開院しました。今年で、丁度60年になります。

当時、皮膚泌尿器科を標榜している診療所は珍しかったものと思います。皆様はご存知ないと思いますが、理事長（父）は長崎大学医学部皮膚泌尿器科に在職中の昭和31年に腹膜透析を臨床で用いて急性腎不全の患者様を救命した日本で最初の医師であります。その事もあり、私は父が過ごした泌尿器科で研究・臨床に携わり、平成3年4月より、部屋1つ隔てて父と共に診療を始めました。平成4年12月に地域の透析患者様のお役に立てばと思い透析室を開設し、現在に至っております。父は平成27年5月に第一線を退き隠居生活をしておりますが、診療所の事は気になるらしく、様子を伺うことが度々です。

在宅での膀胱留置カテーテル等の泌尿器科関連の患者様や、通院が困難となった父の患者様等の在宅診療も、外来診察終了後に行っています。

患者様の急変時に、とりわけ往診先より電話1本で対応して下さる公立新小浜病院には、大変感謝しており、開業医にとっては大変心強いものです。透析医療に携わっている関係で、365日、終日対応で奮闘しております。これからも連携を強固なものにして、微々たる力ではありますが地域医療に貢献できればと思っておりますので、宜しくお願い致します。

副院長 城代 明仁



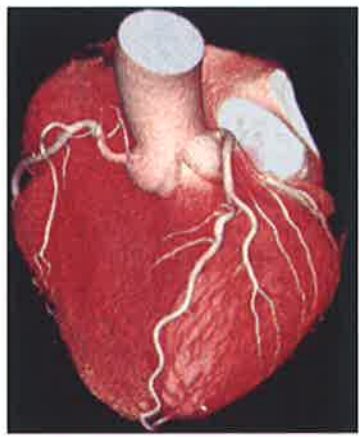
# 最新鋭のCT導入



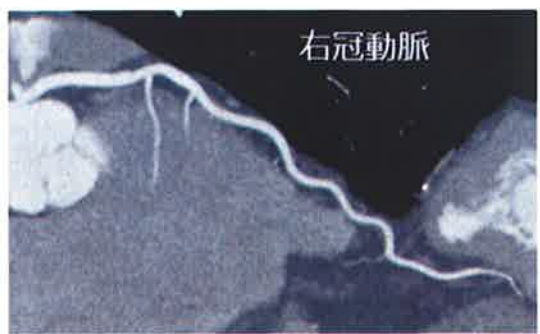
2017年12月より最新鋭のCTである320列CTを導入いたしました。

長崎県では6台目で、島原半島では初となっています。

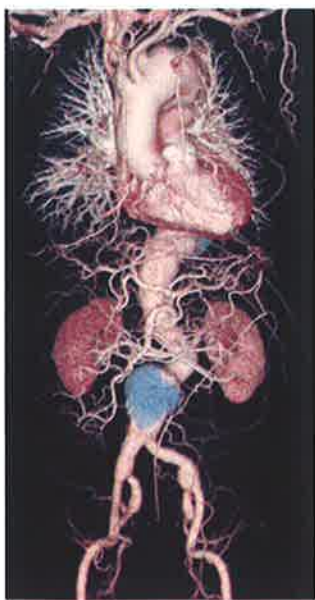
320列CTは従来のCTと比較すると、胸部から骨盤までの撮影時間が30秒程かかっていたのが最短で5秒となり、息止めも短く検査が楽になります。被ばく線量も半分ほどに抑えることができます。また、一度に16cmの撮影範囲と1回転0.275秒の高速撮影ができることにより、心臓や頭部全体を一回転で撮影できます。質の高い検査を提供しながら、患者さんの負担を軽減することができます。撮影中に不整脈が発生した場合においても、自動的に不整脈を検知してX線照射を止め、次の正常な心拍にて撮影するといった安全機構を搭載し、検査精度が格段に向上しています。画像処理能力も高く、心臓の機能解析や高度な3D画像の作成が可能です。



左冠動脈  
(前下行枝)



右冠動脈



# 院内研究発表会

2017年度院内研究発表会が  
12月6日(水) 当院総合ホールにて開催。

日頃の「業務の取り組みについて」医師、作業療法士、総務課、看護師による4演題が発表されました。

- ① 医師(井手 孝)・・・認知症高齢者の運転免許更新について
- ② リハビリテーション科(松尾 忠昭)・・・リハビリの現況報告 ～収益と疾患別リハビリの動向～
- ③ 総務課(大村 拓)・・・おむつに関する業務改善について
- ④ 4F病棟(山本 恵)・・・急性期看護補助者の業務把握と体制変更への取り組み



## ～ 最優秀賞 ～

4F病棟「急性期看護補助者の業務把握と体制変更への取り組み」が選ばれました。

☆ 看護補助者業務の実態把握後タイムテーブルの見直しを行い、新体制へ変更。新体制への変更前後の業務について看護補助者へアンケートを実施し結果を比較。新体制へ変更後には業務改善率の向上がみられた。しかし、病棟間の差があることもあり今後も体制構築に進んでいくとの発表でした。院内研究発表会では、普段知り得ない他部署の取り組み等を知ることができます。そこで知り得たことをヒントに業務に広がりをもたせ、より良い医療の提供へ繋げていければと思います。

# クリスマス会

12月16日、回復期病棟でクリスマス会を開催しました。会にお誘いしたときは遠慮がちだった患者様も、「ゲームをしたり、ケーキを食べたり、とても楽しかった」と話して下さいました。短い時間でしたが、患者様の笑顔が見れて本当に良かったです。



## 新ユニフォームで 気持ちも新たに



昨年12月からリハビリ職員のユニフォームが一新されました。リハビリ室が明るくなったと好評です。今後も患者様一人ひとりに心を込めて接していきます。

